2008年2月6日
野村不動産ホールディングス株式会社
（コード番号：3231　東証第一部）

報道関係者各位

２００８年３月期第３四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：鈴木　弘久）は、本日、２００８年３月期第３四半期連結決算（２００７年４月１日～２００７年１２月３１日）を確定いたしましたのでお知らせいたします。なお、詳細については、「平成２０年３月期　第３四半期財務・業績の概況」を併せてご参照ください。

＜ハイライト＞

■２００８年３月期第３四半期における連結業績は、売上高が2,426億円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益が432億円（同15.0%増）、経常利益が363億円（同11.5%増）、四半期純利益が211億円（同13.2%増）となりました。

■住宅事業セグメント・・・営業利益が89億円と前年同四半期比33.8%減少しております。これは、住宅分譲部門における計上（引渡）戸数が、前年同四半期比13.6%減の1,809戸にとどまったことや高利益率の物件の引渡しが1～3月に集中することなどが要因です。なお12月末時点で、通期計上予定3,850戸に対し約97%の住戸が契約済みとなっており、利益計画は達成できる見通しです。

■資産運用開発事業セグメント・・・営業利益が284億円と前年同四半期比79.7%増加しております。昨年９月の「イオン八千代緑が丘ショピングセンター」売却が、利益に大きく貢献しております。また、資産運用部門では、Ｊ-ＲＥＩＴや私募ファンド等の運用資産残高が中間期末（2007年９月末）時点から約920億円増加し、9,500億円を超えました。

■仲介・販売受託セグメント・・・営業利益が33億円と前年同四半期比30.0%減少しております。これは、商品不動産販売部門において前年よりも引渡し物件が減少したことに加え、売買仲介部門においても私募ファンドや不動産業者間の取引が減少したことなどによります。

■当第３四半期の業績は、2007年11月９日に公表いたしました通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の見通しに対し順調に推移しており、当該予想数値の変更はありません。

以　上

（添付資料）
平成２０年３月期　第３四半期財務・業績の概況

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ホールディングス株式会社　広報ＩＲ部（片山・津賀）
ＴＥＬ０３－３３４８－８１１７　・　ＦＡＸ０３－３３４３－０４４５